

## 1. これからの学校・社会で大切なこと【課題】

### 【1】全員がドリームメーカーに！「夢」や「願い」を！

このような時代だからこそ、子供たちは、変化を前向きに受け止め、私たちの社会や人生、生活を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしたたり、現在では思いもつかない新しい未来の姿を構想し実現したりしていくことができる。

「中教審答申」

AIの進化やグローバル化、少子高齢化など、変化の激しい予測困難な時代だからこそ、自分の夢や願いをしっかりと持つことが必要です。そのためには、まわりの人たちの姿を生き方の「モデル」として、学ぼうとする姿勢が重要です。それが『共に創る』の真髄（しんずい）です。

### 【2】AIと共に生きるめ

人間は、……目的を自ら考え出すことができる。……情報を深く理解して自分の考えをまとめたり、相手にふさわしい表現を工夫したり、答えのない課題に対して、多様な他者と協働しながら目的に応じた納得解を見いだしたりすることができるという強みを持っている。

「中教審答申」

AIを目標実現のための心強いパートナーとして使いこなすことが大切。「人間の学び」は、困難なことに自ら挑戦する中で経験できる「試行錯誤」と「切磋琢磨」にあります。だから、自分と違う個性の人との学習が必要です。学校は、人と「違う」こと、多様性が大切なんです。

### 【3】出口は、いつも「一人一人」め

学ぶことと自分の人生や生活とのつながりを実感しながら、自らの能力を引き出し、学習したことを活用して、生活や社会の中で出会う課題の解決に主体的に生かしていけるように……。

「中教審答申」

最終目標は「自立」。行事でも授業でも部活でも、めざすのは、「一人一人」の高まり。これからの社会では、自分で自分の学習や生活を作り出していく『セルフマネジメント（自己管理能力）』の力が特に重要です。自分を見つめ、より良い人生を求めているのは、自分だけです。

## 2. 学校の教育目標の実現をめざして【方針】

### 学校の教育目標 「共に創る」

#### <こんな一人一人に = 自立>

自ら学び、自ら能力を引き出す力を高める一人一人  
×「(家庭学習で)何をやったらよいのか、思いつかない。」

#### ■ 先生たちの課題（生徒と同じ）

教師の世代交代が進むと同時に、学校内における教師の世代間のバランスが変化し、教育に関わる様々な経験や知見をどのように継承していくか

#### 「学習指導要領 解説総則編」

- \* 自ら先生としての指導力を高めることが必要
- \* 郡上市の全ての先生たちで学び合うことが必要

#### <こんな白中に = 安心参加・協力・貢献>

- (1) 先生と生徒が学校生活への夢や願いを共有する。
- (2) 4つのステージごとに見通し（目標と重点活動）を共有し、一人一人が振り返り（自分みつめ）を繰り返すことを通して、学習や生活を高める力を身に付ける。
- (3) 困難なことこそ、進んで挑戦する。
- (4) 挑戦する中で、試行錯誤や切磋琢磨を大切にし、学び方や生き方を学び合い、鍛え合う。
- (5) 試行錯誤と切磋琢磨の具体的なやり方を身に付ける。

#### <学校づくりに生かしたい生徒の願い>

- ・誰もが安心して生活できる（がんばれる）学校にしたい。
- ・地域に貢献できる（地域が誇りとする）学校にしたい。

#### <新しい働き方に生かしたい先生の願い>

- ・自ら挑戦できるチャンスを、生徒から奪ってしまわないように、生徒に任せるべきことを明確にしたい。
- ・自ら試行錯誤と切磋琢磨ができる先生でありたい。

## 3. 2019年度、特に大切にすること【重点】

### 重点1

#### ■ 自分の生活を切り拓く「確かな学力」を身に付ける

◎高校や社会で役に立つ「学力」を身に付ける。

【白中STAR計画】

- ① 学習の見通しを共有し、自らの学習を振り返る力
- ② 小集団で切磋琢磨する力
- ③ ノートを活用する力
- ④ 難しい学習課題に立ち向かい、試行錯誤する力
- ⑤ 仲間と「学習目標」を立て、自ら学習を高めていく力

■ 「公表会」を「自慢の授業発表会」とする1年間の取組

### 重点2

#### ■ 自ら困難に立ち向かう「豊かな生き方」を身に付ける

◎高校や社会で認められる「生き方」を身に付ける。

【白中人権宣言】

- ① 地道に誠実に努力する生き方（「あ・じ・み」）
- ② キャリア学習を生活の軸とする生き方【中高一貫教育】
- ③ お互いの良さや努力を讃え合う生き方（「ほめ写」）
- ④ 小・中・高を通して地域に学び、地域に貢献する生き方（「郡上学」）【白鳥プラン】
- ⑤ 他の人たちの姿をモデルとして学び取ろうとする生き方

■ 保健室をターミナルとする教育相談の仕組み作り

■ リーフレットによる小中高一貫教育のPR